

2002年4月5日

各 位

明治生命保険相互会社
安田生命保険相互会社

経営統合に向けた提携の進捗状況について

明治生命保険相互会社(社長 かねこ りょうたろう 金子 亮太郎)と安田生命保険相互会社(社長 みやもと みきひこ 宮本 三喜彦)は、本年1月24日に「経営統合に向けた全面提携」を発表いたしましたが、この提携の進捗状況につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 経営統合に向けた提携成果

(1) 確定給付企業年金保険の共同開発

両社は、2002年4月から導入される確定給付企業年金制度向け商品として「確定給付企業年金保険」を開発し、2002年3月25日付で認可を取得しました。

経営統合に向けた全面提携の一環として、商品・サービスの共同開発・共通化に取り組んでおりますが、今般、最初の具体的成果が確定給付企業年金制度向け団体年金新商品として結実しました。

(詳細に関しましては、3月26日付ニュースリリースをご参照下さい。)

(2) 人材交流・合同研修会の実施

2002年3月1日付及び4月1日付人事異動において、24名(両社12名ずつ)の人材交流を実施しました。本人材交流は、両社の融和および企業風土の相互理解を積極的に図ることで、両社の提携関係を強化していくことを目的としています。

この人材交流により、両社の職員自らが経営統合前に互いの企業文化・組織風土を体感し、その実体験を相互の業務政策・運営にタイムリーにフィードバックすることが可能となります。両社は、このような貴重な経験を生かして円滑な経営統合を推進するとともに、経営統合後の組織融和をスピーディーに進めるための中核人材を育成していきます。

この第一弾の人材交流は両社の本社部門を中心に、個人保険部門では6つの分野で、資産運用部門では3つの分野で、加えて人事部門、情報システム部門と合わせて11の分野で人材交流を実施しました。

今秋の第二弾の人材交流では、社内公募を行う他、支社営業部門・事務部門も含め、交流対象者の範囲・規模を拡大していく予定です。

また、研修会につきましても共同運営を行ってまいります。具体的には今年度入社の新入職員の初期研修の一部共同開催に加えまして、中堅職員および管理職層につきましてもマネジメント研修等の合同研修会実施に向けた検討を進めております。

2．個社の経営合理化への取組み事項

両社は各々が達成すべき経営目標を設定し、経営統合に向けて各々の責任において経営体力・体質の強化に努めることとしております。

営業拠点の再配置・集約を通じた事業インフラの大型化につきましては、既に再配置・集約を進めております。

まず、支社組織の大型化への対応ですが、前年度と今年度のそれぞれの年度始で比較しますと、明治生命は支社数を83支社から81支社へ2支社削減、安田生命は91支社から81支社へ10支社削減し、両社合計で162支社となりました。

次に営業拠点の効率的な再配置への対応ですが、同様に前年度と今年度のそれぞれの年度始で比較しますと、明治生命は営業所数を1,191営業所から1,153営業所へ38営業所減、安田生命は808営業所から787営業所へ21営業所減となり、両社合計で1,940営業所となりました。

	支社			営業所		
	2001/4	2002/4	削減数	2001/4	2002/4	削減数
明治	83	81	2	1,191	1,153	38
安田	91	81	10	808	787	21
合計	174	162	12	1,999	1,940	59

3．経営統合推進委員会について

経営統合に向けた全面提携を推進するため、両社長を共同委員長とする経営統合推進委員会を設置し、去る2月6日に第1回委員会を開催いたしました。その後も定期的に委員会を開催し、経営統合に向けた体制整備が着実に進展しております。

また、同委員会の下部組織として10の実務検討部会、27の分科会、70のワーキング・グループが稼働しており、実務レベルでの連携・体制整備も着実に進展しております。

今後も、具体的な成果が固まり次第、順次ご報告してまいります。

以上